



愛知県政記者クラブ
愛知クラブ（東京）
都道府県記者クラブ
名古屋市政記者クラブ
豊橋市政記者クラブ
岡崎市政記者クラブ
中部芸術文化記者クラブ 同時発表

開幕まであと48日！

平成28年6月24日（金）
愛知県民生活部文化芸術課
国際芸術祭推進室事業第二グループ
担当：市川、川北、工藤
電話：052-971-6127（ダイヤルイン）
県庁内線 724-690、724-694

「アート」と「まち」を旅^{キャラヴァン}
あいちトリエンナーレ 2016 公式ガイドブック出版記念イベントを開催します

「あいちトリエンナーレ 2016 公式ガイドブック」【7月15日（金）発売】の出版を記念して、7月16日（土）に代官山 T-SITE GARDEN GALLERY で1日限定のイベントを開催します。

あいちトリエンナーレ 2016 のテーマは「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」。その「旅」をキーワードに愛知へ旅をしたくなるプログラムが盛りだくさんです！港千尋芸術監督を始めとする多数の登壇者による様々な切り口でのトークにより、あいちトリエンナーレ 2016 の最新情報を発信するとともに、会場となる名古屋、豊橋、岡崎の街の魅力を PR します。

1. イベント概要

(1) 名称

あいちトリエンナーレ 2016 公式ガイドブック出版記念イベント

(2) 日時

平成28年7月16日（土）10:30～20:00

(3) 場所

代官山 T-SITE GARDEN GALLERY（東京都渋谷区猿楽町16-15）

(4) 内容

◆ トークイベント

①11:00-12:00 「愛知のおいしい話」

大竹敏之氏（フリーライター）

②14:00-15:00 「なごやのたからもの」

甲斐みのり氏（文筆家）

③16:00-17:00 「旅と写真と、そしてあいちトリエンナーレと。」

田附勝氏（写真家・あいちトリエンナーレ 2016 参加アーティスト）

港千尋（あいちトリエンナーレ 2016 芸術監督）

④18:30-20:00 「最新 あいちトリエンナーレ 2016 情報！名古屋・豊橋・岡崎のみどころは？」

黒野有一郎氏（建築家／あいちトリエンナーレ・とよはし部会事務局）

オカザえもん（岡崎アート広報大臣）

港千尋（あいちトリエンナーレ 2016 芸術監督）

◆キャラヴァンサライ・ライブラリー等

①10:30-18:00 キャラヴァンサライ・ライブラリー

あいちトリエンナーレ 2016 参加アーティストの L PACK. による旅するキャラヴァンサライ・ライブラリー。トリエンナーレ関連書籍や、旅に役立つ本をゆっくり読めるコーナーです。

【ライブラリー利用料：500 円（L PACK. の 1 ドリンク付）】

<L PACK. のプロフィール>

小田桐奨と中嶋哲矢によるアーティスト・ユニット。2007 年より、バックパックに詰めた最小限の道具と現地の素材を組み合わせ国内の様々なスペースを「コーヒーのある風景」に変えるカフェ・プロジェクトや、各地の国際芸術祭におけるビジターのためのスペースづくり、美術館の教育普及プログラムと連動したワークショップスペースの設計など、アート、デザイン、建築、民芸などさまざまな領域を横断しながらアーティストと鑑賞者、地域の人々とのコミュニケーションの場を創造している。



②10:30-18:00 あいちトリエンナーレ PR ブース

あいちトリエンナーレの最新情報をお伝えする PR ブースや、公式グッズ等を販売します。

(5) その他

事前申込は不要です。

2. 公式ガイドブック

(1) 名称

あいちトリエンナーレ 2016 公式ガイドブック

(2) 発売日

平成 28 年 7 月 15 日（金）

(3) 価格

1,204 円＋税（1,300 円税込）

(4) 仕様

A5 判、160 ページ、日本語、ポケットマップ付

(5) 主な内容

○アーティスト紹介・作品解説

アーティスト紹介と作品解説にキャッチコピーを付け、分かりやすくしました。

○アーティストインタビュー

アーティストの人柄や、作品の背景を知ることによって、より作品鑑賞を楽しむことができます。

○まちの魅力紹介

会場となる名古屋・豊橋・岡崎のまちの魅力や旅の途中に立ち寄れるおすすめスポットを紹介します。

○お役立ち情報

おすすめコース、イベント、グッズ、アクセス情報等、お役立ち情報を紹介します。

(6) 出版元

ぴあ株式会社

(7) 販売場所

○愛知県内の書店及び全国の主要書店

○愛知県内のコンビニエンスストア（名古屋市、豊橋市、岡崎市の会場近くの店舗中心）

○インターネット書店（Amazon、BOOK ぴあほか）※Amazon にて予約受付中

○オフィシャルショップ ※会期中販売

3. 登壇者のプロフィール

大竹敏之

名古屋在住のフリーライター。著書は『名古屋の商店街』『名古屋めし』『名古屋の喫茶店』『名古屋の居酒屋』『コンクリート魂 浅野祥雲大全』など。オールアバウト名古屋ガイドも。



甲斐みのり

文筆家。1976年静岡県生まれ。

旅や散歩、お菓手に手土産、クラシック建築やホテル、雑貨と暮らし、女性が好んだり、憧れるモノやコトを主な題材に書籍や雑誌に執筆。

著書に『なごやのたからもの』『東海道新幹線各駅停車の旅』

『地元パン手帖』など30冊以上。



田附 勝

トラックとドライバーを撮影した写真集を2007年に『DECOTORA』として刊行。

2006年から東北地方で撮り続けた写真集、『東北』を2011年に刊行。

2012年に東北での鹿猟を撮影した『その血はまだ赤いのか』を刊行。

2013年には東北の闇の中の鹿を撮影した『KURAGARI』、

そして2014年には鹿猟そのものの終わりを告げる『「おわり。」』を刊行。

2014年から2015年にかけて八戸の漁村をテーマに「魚人」と題して

彼らの漁と生活を撮影する。2011年木村伊兵衛写真賞受賞。



《鹿撃たれる》岩手県釜石市2009年11月 2009
Courtesy of the artist and GALLERY SIDE 2
copyright Masaru Tatsuki

黒野有一郎

建築家／あいちトリエンナーレ・とよはし部会事務局

1967年、愛知県豊橋市生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、

野沢正光建築工房（東京・世田谷）を経て、2003年豊橋に帰郷、

「一級建築士事務所建築クロノ」設立。

住宅・店舗の設計、商業施設の監修などの傍ら、地域・地方（リージョン）において、

建築家にできることを模索中。現在、生まれ育った「水上ビル」（＝豊橋会場のひとつ）

にある「大豊商店街」の組合代表理事、豊橋駅前のまちづくり団体

「豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議（駅デザ会議）」常務理事、

アートイベント「sebone（せぼね）」実行委員会代表などを務める。



オカザえもん

愛知県岡崎市のキャラクターのようなもの。

愛知県岡崎市で開催された現代美術展「岡崎アート&ジャズ 2012」に、現代美術作家の斉と公平太が出演した作品である。

もともとはイラストだったが、同美術展を機に絵から抜け出し、市内外のイベントやライブに出没し始めた。1972年7月1日生まれ、「バツ1」という設定（7月1日は岡崎市の市制記念日）。

本名は、岡崎 衛門之介（おかざき えもんのすけ）。

「オカザえもんJr.」という子供がいる。

「ご当地キャラ総選挙2013」全国2位

「ゆるキャラグランプリ2013」全国22位。



港千尋

写真家・著述家。多摩美術大学美術学部情報デザイン学科教授（映像人類学）。

早稲田大学政治経済学部卒業。2013年より国際交流基金国際展事業委員を務める。

群衆や記憶など文明論的テーマをもちつつ、研究、作品制作、展覧会、出版、キュレーション等、幅広い活動を行っている。

著作『記憶—創造と想起の力』（講談社／1996）でサントリー学芸賞、展覧会「市民の色」で伊奈信男賞を受賞。2006年に釜山ビエンナーレ共同キュレーターを、2012年に台北ビエンナーレ共同キュレーターを務める。

2007年にはヴェネツィアビエンナーレ国際美術展日本館のコミッショナーも務めた。

あいちトリエンナーレ2016芸術監督。



4. 問合せ先

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局 事業第二グループ
(愛知県県民生活部文化芸術課国際芸術祭推進室内)

担 当：市川、川北、工藤

住 所：〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター6 階

電 話：052-971-6127 FAX：052-971-6115 URL：<http://aichitriennale.jp>

E-Mail：geijutsusai@pref.aichi.lg.jp

「あいちトリエンナーレ2016」概要

2010年より3年ごとに開催される国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」。国際展や映像プログラムなどの現代美術と合わせて、ダンス・オペラなどの舞台芸術も楽しむことができます。また、まちなかでの作品展示やさまざまな普及教育プログラムがあることも大きな特色です。第3回となる今回は、「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」というテーマのもと、国内外から100組を超えるアーティストが集結します。

芸術監督：港 千尋 写真家・著述家 | 多摩美術大学美術学部情報デザイン学科教授（映像人類学）

会期：2016年8月11日（木・祝）～10月23日（日） [74日間]

会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋・豊橋・岡崎市内のまちなか

主催：あいちトリエンナーレ実行委員会

公式 Web サイト：<http://aichitriennale.jp/>

公式 facebook：[/AICHITRIENNALE](https://www.facebook.com/AICHITRIENNALE) 公式 Twitter：[@Aichi_Triennale](https://twitter.com/Aichi_Triennale) #あいちトリエンナーレ